

たとえば…

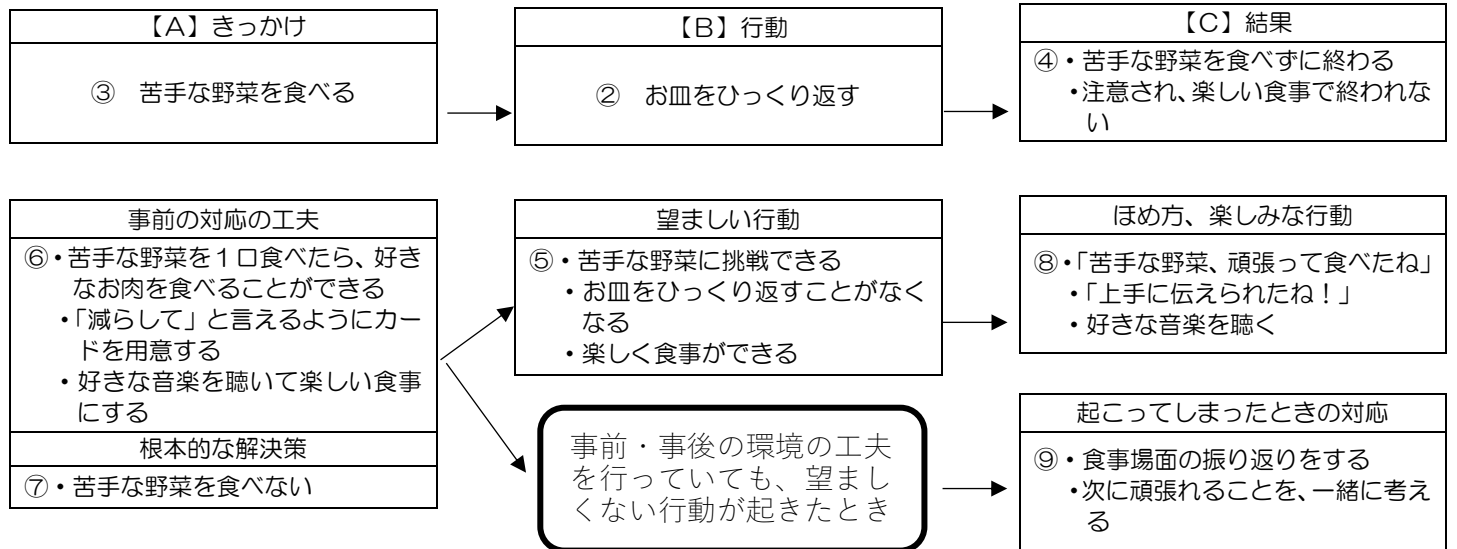
Aくんの困った行動について、ストラテジーシート（分析シート）を使って考えてみました。



Aくん（小学1年生、男子）

- ・好きなアニメのDVDを見たり、歌を歌ったりすることが大好き。
- ・野菜が苦手で、食事中、苦手な食べものがあると、お皿をひっくり返す。
- ・ふりかけごはんが大好き。おかわりする。

行動名 ① 苦手な野菜があると、お皿をひっくり返す。



※①～⑨の数字は、シートに記入していく順番

Aくんの様子を整理してみると、「苦手な野菜を食べる。」ということに挑戦しているAくんの頑張りがあります。その中で、Aくんが「苦手」ということを伝えられずに、「お皿をひっくり返す。」という行動になっていることも分かってきました。上手にAくんが伝えることができるような工夫とともに、食事場面が楽しめるようにしていくことも大切です。ストラテジーシート（分析シート）に整理してみると、Aくんの本当の思いが隠れていることに気が付くことにもなります。このように様々な対応を考え、取り組んでいてもなかなか改善しないことがあります。なかなか改善しないと、「どうしたらいいかな…。」と不安になりますよね。どの支援や対応が子どもに合っているのか、その行動のきっかけになっているものはないか…ということは時間がかかります。子どもがどのようなところに困っているのか、一緒に考えていけたらと思います。

保護者の方より

「困った困った」と思っているだけでなく、きっかけや結果を考えると、行動の解決策が見つかることが分かりました。

分かりやすい行動を使って分析を試みましたが、実際はきっかけすら気付いていないことが多く、よく見て、何がきっかけでその行動をするのか、まず知ることが大切なんだなと思いました。

ほかのお母さんのお話が聞けて、アドバイスもいただけてありがたかったです。



ほかの子どもさんの困っておられることが知れて、話が聞けて良かった。